



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月10日

上場取引所 東

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社

コード番号 3443 URL <http://www.kawada.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川田 忠裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 渡邊 敏

TEL 03-3915-7722

四半期報告書提出予定日 平成25年12月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	38,590	△10.0	△948	—	△759	—	△713	—
25年3月期第2四半期	42,878	11.4	345	△44.1	△150	—	△239	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △279百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △238百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△125.27	—
25年3月期第2四半期	△42.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	93,029	29,466	31.5
25年3月期	93,258	29,886	31.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 29,270百万円 25年3月期 29,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	30.00	30.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	2.7	1,000	△51.0	700	△66.4	500	△64.6	87.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,781,070 株	25年3月期	5,781,070 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	73,769 株	25年3月期	82,641 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,699,800 株	25年3月期2Q	5,698,876 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
受注、販売及び繰越高の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和政策や各種経済政策を背景として株価上昇や円高是正が進行し、景気は緩やかな回復傾向を示しています。しかしながら、新興国経済の成長鈍化や欧州経済の低迷などから、依然として不透明感が払拭できない状況が続いています。

建設業界につきましては、平成24年度補正予算の実行や震災復旧・復興関連事業の本格発注などを背景に公共工事は堅調に推移しております。また、民間工事につきましても、設備投資関連需要の増加が見込まれるなど明るさを取り戻しつつあります。しかしながら、労務・資材不足による建設費用の高騰や工事の着工遅延などの懸念材料もあり、依然として予断を許さない経営環境が続いています。

このような状況のもと、当社グループでは受注量の拡大と収益体質の確立を基本的な姿勢として、生産性および品質の向上、コスト削減の徹底など価格競争力確保のため諸施策を展開し、業績の向上に努めています。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、受注高は48,250百万円（前年同四半期比54.3%増）、売上高は38,590百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。

収益面につきましては、営業損失948百万円（前年同四半期は営業利益345百万円）、経常損失は759百万円（前年同四半期は経常損失150百万円）、四半期純損失は713百万円（前年同四半期は四半期純損失239百万円）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

（鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、期中の受注高は増加したものの、第2四半期累計期間における製作物件が少なかったことから施工高は伸び悩み、売上高は19,301百万円（前年同四半期比14.2%減）となりました。収益面では、鋼橋工事において過年度に受注した採算の厳しい大型工事が進捗したことで利益を圧迫し、原価低減と生産性の向上に努めましたが、営業利益は245百万円（前年同四半期比72.5%減）に止まりました。

（土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、受注高は大幅に増加しましたが、前期からの繰越高が少なかったため、売上高は前年度に比べ微増の11,065百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。一方、収益面ではPC橋梁工事や保全工事の設計変更の成約に遅れが出ていることから採算が悪化し、営業損失497百万円（前年同四半期は営業損失176百万円）の計上となりました。

（建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、消費税改正に伴う駆け込み需要的な受注はあったものの、着工の先送りなどの影響から施工高は低調に推移し、売上高は4,526百万円（前年同四半期比27.5%減）となりました。収益面では、継続的なコスト削減等による収益改善に努めておりますが、売上高が減少したことから営業損失90百万円（前年同四半期は営業利益47百万円）の計上となりました。

（その他）

その他におきましては、売上高は4,449百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。収益面では、連結各社において順調に売上を伸ばしたことに加え、継続的な原価改善に努めた結果、営業利益56百万円（前年同四半期比44.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における「資産の部」は、93,029百万円となり前連結会計年度末に比べ229百万円(△0.2%)減少しました。これは主に、建設仮勘定などの有形固定資産が1,010百万円及び関係会社株式などの投資その他の資産が899百万円増加しましたが、工事債権の回収が進み受取手形・完成工事未収入金等が2,586百万円減少したことによるものであります。

また、「負債の部」は、63,563百万円となり前連結会計年度末に比べ190百万円(+0.3%)増加しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が756百万円及び未成工事受入金が456百万円減少しましたが、長期運転資金の調達のため長期借入金が2,072百万円増加したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は29,466百万円となり、前連結会計年度末に比べ419百万円(△1.4%)減少しました。これは主に当第2四半期連結累計期間に四半期純損失713百万円を計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の31.8%から31.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ、226百万円増加し6,817百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、688百万円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は728百万円の資金増加)となりました。これは主に仕入債務の減少等による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,030百万円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は373百万円の資金減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得等による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,943百万円の資金増加(前年同四半期連結累計期間は1,885百万円の資金増加)となりました。これは主に長期借入金の借入及び社債の発行による資金の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、平成25年5月10日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,687	6,914
受取手形・完成工事未収入金等	32,391	29,805
未成工事支出金	1,085	1,445
その他のたな卸資産	868	908
繰延税金資産	51	42
その他	1,829	1,672
貸倒引当金	△61	△58
流動資産合計	42,852	40,730
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	4,904	4,873
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	1,313	1,335
航空機(純額)	1,510	1,501
土地	16,589	16,589
リース資産(純額)	2,267	2,719
建設仮勘定	62	639
有形固定資産合計	26,648	27,659
無形固定資産	768	755
投資その他の資産		
投資有価証券	931	1,022
関係会社株式	20,116	20,999
長期貸付金	497	491
その他	2,232	2,201
貸倒引当金	△795	△833
投資その他の資産合計	22,982	23,881
固定資産合計	50,399	52,296
繰延資産		
創立費	7	2
繰延資産合計	7	2
資産合計	93,258	93,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	19,210	18,454
短期借入金	9,503	9,221
1年内返済予定の長期借入金	6,218	6,351
1年内償還予定の社債	210	410
未払法人税等	179	105
未成工事受入金	3,946	3,490
賞与引当金	952	745
完成工事補償引当金	92	65
工事損失引当金	1,807	1,510
損害補償損失引当金	208	23
資産除去債務	5	5
その他	3,314	2,695
流動負債合計	45,650	43,079
固定負債		
社債	525	1,220
長期借入金	9,391	11,463
繰延税金負債	23	58
再評価に係る繰延税金負債	1,936	1,936
退職給付引当金	3,298	3,110
役員退職慰労引当金	284	265
資産除去債務	149	149
負ののれん	267	258
その他	1,847	2,021
固定負債合計	17,722	20,484
負債合計	63,372	63,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,364
利益剰余金	13,794	12,910
自己株式	△277	△247
株主資本合計	28,885	28,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135	379
土地再評価差額金	418	418
為替換算調整勘定	234	445
その他の包括利益累計額合計	787	1,243
少数株主持分	212	195
純資産合計	29,886	29,466
負債純資産合計	93,258	93,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	42,878	38,590
売上原価	39,786	36,769
売上総利益	3,092	1,820
販売費及び一般管理費	2,747	2,769
営業利益又は営業損失(△)	345	△948
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	26	27
受取賃貸料	102	91
負ののれん償却額	10	10
持分法による投資利益	—	660
貸倒引当金戻入額	1	—
その他	68	81
営業外収益合計	214	877
営業外費用		
支払利息	390	359
賃貸費用	248	257
持分法による投資損失	34	—
その他	38	71
営業外費用合計	710	688
経常損失(△)	△150	△759
特別利益		
固定資産売却益	5	2
保険差益	1	—
損害補償損失引当金戻入額	—	154
その他	1	1
特別利益合計	7	157
特別損失		
固定資産除却損	5	6
関係会社出資金評価損	—	8
ゴルフ会員権評価損	12	—
退職特別加算金	5	—
その他	2	0
特別損失合計	27	14
税金等調整前四半期純損失(△)	△170	△615
法人税、住民税及び事業税	50	104
法人税等調整額	9	14
法人税等合計	60	119
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△230	△735
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9	△21
四半期純損失(△)	△239	△713

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△230	△735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	53
持分法適用会社に対する持分相当額	62	402
その他の包括利益合計	△8	455
四半期包括利益	△238	△279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△247	△258
少数株主に係る四半期包括利益	8	△21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△170	△615
減価償却費	1,104	1,089
負ののれん償却額	△9	△9
関係会社出資金評価損	—	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△205	35
賞与引当金の増減額(△は減少)	△47	△207
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△561	△296
損害補償損失引当金の増減額(△は減少)	2	△185
その他の引当金の増減額(△は減少)	26	△71
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5	△187
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14	△19
受取利息及び受取配当金	△31	△33
支払利息	390	359
持分法による投資損益(△は益)	34	△660
保険差益	△1	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△0
有形固定資産売却損益(△は益)	△2	△2
有形固定資産除却損	5	6
売上債権の増減額(△は増加)	△670	2,586
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△499	△360
たな卸資産の増減額(△は増加)	△125	8
仕入債務の増減額(△は減少)	1,253	△757
未成工事受入金の増減額(△は減少)	342	△456
その他	△37	△740
小計	805	△509
保険金の受取額	1	—
法人税等の支払額	△77	△178
営業活動によるキャッシュ・フロー	728	△688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12	△23
定期預金の払戻による収入	200	23
有形固定資産の取得による支出	△495	△1,105
有形固定資産の売却による収入	11	2
無形固定資産の取得による支出	△140	△163
投資有価証券の取得による支出	△21	△7
投資有価証券の売却による収入	0	0
貸付けによる支出	△8	△3
貸付金の回収による収入	16	18
利息及び配当金の受取額	31	213
その他	45	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△373	△1,030

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,005	△282
長期借入れによる収入	3,700	5,824
長期借入金の返済による支出	△3,335	△3,618
社債の発行による収入	500	1,000
社債の償還による支出	△105	△105
利息の支払額	△405	△401
リース債務の返済による支出	△291	△312
配当金の支払額	△170	△170
その他	△11	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,885	1,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,242	226
現金及び現金同等物の期首残高	6,281	6,590
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,523	6,817

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	22,039	10,842	6,230	39,112	3,765	42,878
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	448	93	16	558	134	693
計	22,487	10,936	6,246	39,670	3,900	43,571
セグメント利益又は損失(△)	892	△176	47	764	39	803

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	764
「その他」の区分の利益	39
セグメント間取引消去	86
全社費用(注)	△591
その他の調整額	46
四半期連結損益計算書の営業利益	345

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	18,972	10,883	4,525	34,381	4,209	38,590
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	329	182	0	512	240	753
計	19,301	11,065	4,526	34,894	4,449	39,343
セグメント利益又は損失(△)	245	△497	△90	△341	56	△285

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他の機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△341
「その他」の区分の利益	56
セグメント間取引消去	17
全社費用(注)	△685
その他の調整額	4
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△948

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	12,198	39.0	17,090	35.4	4,892	40.1
土木	5,178	16.6	16,364	33.9	11,185	216.0
建築	9,478	30.3	9,472	19.7	△6	△0.1
その他	4,424	14.1	5,323	11.0	898	20.3
合計	31,279	100.0	48,250	100.0	16,970	54.3

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	22,487	51.6	19,301	49.1	△3,185	△14.2
土木	10,936	25.1	11,065	28.1	129	1.2
建築	6,246	14.3	4,526	11.5	△1,719	△27.5
その他	3,900	9.0	4,449	11.3	549	14.1
合計	43,571	100.0	39,343	100.0	△4,227	△9.7

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	34,365	49.8	43,804	49.3	9,439	27.5
土木	23,556	34.1	30,517	34.3	6,961	29.6
建築	9,820	14.2	12,759	14.4	2,939	29.9
その他	1,298	1.9	1,815	2.0	517	39.9
合計	69,040	100.0	88,898	100.0	19,858	28.8

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。